

第 22 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 3 年 6 月 23 日

番号	1	質問者	西 本 英 輔	タイトル	藤岡新市長に問う！！
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	市長の描く朝来市の未来とは	(1) 藤岡新市長は、前多次市長の市政運営をどのように評価されているか。 (2) 多次市政の中で副市長を務めておられたこともあり、基本的に前多次市長の市政運営を継承していくという考えで良いか。また、そうであるならば、私自身は前多次市長の市政運営の最も素晴らしかったところは、市民との対話を重んじたところであると評価しているが、多次市政運営の主はどういった部分を継承されるお考えか。 (3) 市長選挙出馬の際、また所信表明の中でも「全ての住民が幸せを実感できるまちを目指す」とされている。基本方針 5 つの重点施策を軸に市政運営をすることにより、それを実現されとのことであるが、「幸せ」とは物質的、経済的なものや、健康的、肉体的なもの、マズローの 5 大欲求のような精神的なものなど様々であり、世代によってもその定義は違うと考える。市長の考える「幸せの定義」「幸せを実感できるまち」とはどのようなものか。 (4) 「全ての住民が幸せを実感できるまち」という考え方には大いに共感するが、「幸せ」というものはあくまでも主観的なものである。現在、第 3 次総合計画を策定中であり、今後、各種計画・プランなども策定・改定がされていくと思うが、市長の描く将来の朝来市について住民、特に市職員が客観的・具体的な共通認識をもたなければ、ベクトルが合わない状況が発生する可能性もあると考えるが、どうか。 (5) 市長選挙にて、選挙公約として 5 つの政策目標を掲げられ、全力で取り組むと約束された。その中で、「朝来医療センターの充実強化を進める」とされている。公立豊岡病院組合との兼ね合いがある為、構成市の首長として組合に対し「モノ言う市長」である必要があると考えるが、その意気込みをお聞きしたい。			市 長

	(6) 所信表明の中で、新型コロナウイルス感染症対策についても触れておられ、朝来市としてもこれまで多くの施策を講じている。特に事業者への支援策として国県の支援施策から漏れた者に対して、市独自の支援策を講じていることは評価するが、それでも前年度比較の月が指定されているなどの理由で支援を受けられていない者がいることを認識しているのか。また、それらに対して市独自の支援策を講じる必要があると考えるが、どうか。 (7) 大型商業施設の撤退は日本各地において問題化している。朝来市にとっても撤退となると雇用や地域経済、また都市計画等に支障をきたすこととなろうかと思うが、市内事業所への支援同様に何かしらの施策や働きかけを実施するお考えはあるか。 (8) 市民は市長選挙において、どのような選挙公約を掲げているか、どんな朝来市の未来を描いているかということだけで投票したのではなく、それらを実行できると期待するから新市長に選んだのである。改めてその決意をお伺いする。	
--	---	--

第 22 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 3 年 6 月 23 日

番号	2	質問者	嵯峨山 博	タイトル	幸せを実感できるまち
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	新型コロナウイルス対策について	(1) 65 歳以上のワクチン接種が始まったが、接種者の事情によりワクチンを廃棄しなければならないということはないか。 (2) 接種者の事情によりワクチンを廃棄するようなことが起きた場合の対応をどのように考えているか。 (3) 65 歳以上の方が 7 月中には 1 回目の接種を終え、次に 60 歳から 64 歳の方を対象にとワクチン接種計画に基づき進められるが、他の自治体では保育士、教職員、自治体の職員等の優先枠を設けている。本市でも考えていく必要があると考えるが所見を伺う。 (4) 現在は検温やアルコール消毒の協力依頼を行なっているが、強制できるものではない。ワクチン接種者が増え、人の往来も多くなることが予想される。観光施設等で働く方々が安心して働ける環境を作るため、条例制定を検討してはどうか。			市 長
2	市政について	(1) 子育て支援について、身近に根付く公園整備とあるが、どのようなものを考えておられるのか伺う。 (2) 市民の運動機能の向上と高齢者の生きがいづくりの場として全天候型運動施設の整備の検討とあるが、これまでの検討状況と今後の取り組みについて伺う。 (3) 儲ける農業実現に向けた、様々な取り組みについて評価するが、個人農家までの取り組みに至っていないと考える。農業者全ての方が報われる必要があると考えるが所見を伺う。 (4) 新規栽培品目の導入や特産品開発の推進については、放棄田に対する対策を新たな視点で考える必要があることから、放棄田を試験田として利用し、花や野菜などの開発を行う提案を行ってきた。このことについて所見を伺う。			市 長

	(5) 本市において、米の生産が多くを占めている。本市独自のブランド米に取り組んでいくことが必要であるとするが所見を伺う。	
3 空き家対策について	(1) 空き家バンク制度を利用し、市外から居住されることにより人口増、空き家減の対策となっている。一方、所有者の問題ではあるが、転出される時に地元へその旨の連絡がない場合、情報が地元になく、所有者と連絡も取れない。市と所有者間の連絡も取れない状況があった場合、老朽化していく建物の問題に対しても相談ができない状況にある。居住された後のフォローはどのように行なっているか。 フォロー体制が必要であるとするが。	市長

第 22 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 3 年 6 月 23 日

番号	1	質問者	小 山 裕	タイトル	新市長のリーダーシップを問う
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	リーダーシップを問う	(1) 行政の長として、大きな年間予算を構築され実行される訳ですが、自治体経営の上では、ボトムアップとトップダウンという手法があります。 市民は、新市長のリーダーシップに期待していると思いますが、市長はどちらの手法に重きを置いて対応されるつもりですか。 今後、どのように朝来市を牽引していくおつもりか所信をお伺いします。 (2) 歴史上、様々な人が活躍されてきました。明治時代には、武骨でありながら柔軟な発想の下に近代日本の発展に寄与された方々が多いと思います。 市長が市政を発展させるに当たって模範としたい、あるいは尊敬されている人があればお伺いします。 また、その理由をお伺いします。			市 長
2	危機意識薄れる学校	(1) 大阪教育大附属池田小学校の乱入殺傷事件から 20 年が過ぎました。事件後、様々な対策と環境整備が行われてきました。しかし、6 月 6 日付の毎日新聞では、学校の危機意識の低下を憂慮する報道がされていました。この件について、教育長の所感をお伺いします。 (2) 市内の学校の状況についてお伺いします。			市 長 教育長
3	コロナ収束後の朝来市は	(1) with コロナの生活が続く中、必要な対策が見えてきて、当初の” 得体のしれない不安 ” というものは薄れてきているように思われます。” コロナ慣れ ” という状態も生まれてきていますが、急激な感染者数の増加や再度の緊急事態宣言の発令と、不安要素が尽きません。with コロナの日常生活がもたらしたものは何であったか。各地の行事、祭り等の衰退が予想されます。市長の所見をお伺いいたします。			市 長

第 22 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 3 年 6 月 23 日

番号	2	質問者	足立義美	タイトル	総合計画・コロナワクチンを問う
質問事項			質問要旨		答弁を求める者
1	藤岡市政と第3次総合計画について		(1) 第3次総合計画では、市の将来像を「人と人がつながり、幸せが循環するまち ～対話で拓く朝来の未来～」にしようとしています。選挙公約の「明日もいい朝《全ての住民の皆さんが幸せを実感できるまち》と同義であると考えます。市長のお考えはいかがですか。 (2) 政策指標として、朝来市民の幸福度が設定されようとしています。これは「ありたいまちの姿」の実現が市民の幸福度にどのように寄与するかを把握するための指標とされています。 幸福度の設定は、意欲的な取り組みと評価する一方、市民が共通認識を持ちにくい、具体性に欠ける等の意見があります。市長のお考えはいかがですか。 (3) 市の自治基本条例には、基本原則の一つとして「参画と協働」がありますが、実現するためには、市民の声をしっかり聴く必要があると思います。どのような方法で聴こうとお考えですか。 (4) 民間活力の導入について、公約では、具体的には触れられていなかったと思いますが、どのようにお考えですか。 (5) 市長は、地域再生まちづくり計画を推進して、生野・和田山・山東・朝来各地域の元気度を一段と高めるとされています。支所機能のあり方については、過去にいろいろな議論がありましたが、市長はどのようにお考えですか。 (6) 所信表明及び予算編成基本方針が示されました。この中で藤岡市政のカラーが出ているものを一つピックアップするとすれば、どのようなことですか。		市長

2 コロナウイルスワクチンの接種について	(1) 市の集団接種や医療機関での個別接種について、ワクチンは、希望の数量が確保されていますか。 (2) ワクチンの無駄をなくすため、ワクチン接種にかかる市独自の順番ルール等について、マニュアルを作成されていますか。 (3) 接種会場での混乱はなかったですか。また、当日のキャンセルや体調不良などで接種できないケースはどの程度ありますか。 (4) ワクチン事故と呼べるような事例は、これまでありませんでしたか。 (5) 市民、関係機関等からの苦情は、なかったですか。あればその状況はどのようなことですか。 (6) 接種の医師、看護師は不足していませんか。また、市の職員体制は、スムーズにいらっていますか。 (7) いろいろな理由で外出が困難な人への接種は、可能でしょうか。可能な場合、どのような方法が考えられていますか。 (8) 今、一番の課題として認識されていることを教えてください。 (9) 64 歳以下の方への一般接種は、いつ頃から開始予定ですか。市独自の順番ルールはありますか。 (10) 今は、1,000 人以上の企業が対象のようですが、市内企業で企業内接種を希望されている状況は把握されていますか。 (11) コロナ感染者に対する誹謗中傷等、差別事象は起きていませんか。 (12) ワクチン供給が順調なら、希望する全市民への接種完了はいつ頃を予定されていますか。	市 長
-----------------------------	---	------------

第 22 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 3 年 6 月 23 日

番号	3	質問者	浅 田 郁 雄	タイトル	市民の生活を守るために
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	朝来市消防団について	(1) 市長の朝来市消防団に対しての思いや考え方をお伺いします。 (2) 消防自動車を運転するのに必要な運転免許証についてお伺いします。 (3) 火災多発非常事態宣言が出ていたが、その後の対応についてお伺いします。			市 長
2	朝来市のプレミアム商品券について	(1) 令和 2 年度に発行されたプレミアム商品券について現在の状況をお伺いします。 金額にしていくら残っているのかお伺いします。 (2) 残った商品券はどうされるのかお伺いします。 今後も、プレミアム商品券事業について取り組む考えはあるのかお伺いします。			市 長
3	緊急事態宣言中の給付金について	(1) 養父市では、一人に 5,000 円のクーポン券を配布するようですが、本市ではそのような支援について検討されていますか。 (2) 本市では、4 月～5 月の 2 カ月連続で売上げが 30% 減少した事業者に対し、給付金を支給するとしていますが、4 月～5 月の 2 カ月を 5 月～6 月の 2 カ月に変更する考えはあるかお伺いします。			市 長
4	35 人学級について	(1) 現在、小学校の 35 人学級はどこまで進んでいるのかお伺いします。 (2) 中学校の 35 人学級については、どのようになっているのかお伺いします。			教育長
5	コロナ禍の学校対応について	(1) 先生、児童がコロナに感染した場合の学校の対応についてお伺いします。			教育長

	(2) 今年は、運動会を実施されるのかお伺いします。 また、実施する場合、毎年、運動会の練習で熱中症が多く出ているが、その対策についてお伺いします。	
--	--	--

第 22 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 3 年 6 月 24 日

番号	4	質問者	吉 田 俊 平	タイトル	ワクチン接種加速と経済復興を！
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	新型コロナウイルス感染症対策について	(1) ワクチン接種が経済復興の必要条件であることから、その接種を加速させる必要があると考える。その手法として、職域接種に取り組むことが非常に有効であることから、朝来市商工会や市内学校施設や市内こども園や工業団地内企業などに職域接種の要請や調整をすべきと考えるが、どうか。 (2) これまでの経済政策は未曾有のコロナ禍の中で、不可避的に対処的な施策体系となっているが、今後のコロナ禍に対する経済政策は体系だった整合性のあるものにしていく必要があると考える。先ず、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置下の臨時的対応と、それ以外の平時的対応を整理する必要があると考えるが、どうか。 また、平時の経済政策として、これまでの施策では対応できていない業種や不十分な対応しかできていない施策を補完する施策として、令和元年度と令和2年度の売上（給付金や支援金等も含む）を比較した減収補填が必要と考えるが、どうか。 また、令和2年の営業所得が大きく減少していないことから個人事業者への施策は一定の評価をしてよいものとする。一方、残業の減少や休業等による影響により給与所得は減少しており、給与所得者に対する施策が必要となっていることから、殆ど全ての給与所得者が利用するライフラインの水道料金基本使用料の免除や減額が必要と考えるが、どうか。 また、これまでの施策が制度的に月売上 100 万円以下の事業者を主眼に置いており、それを超える事業者に対する施策が不十分であり、これから経済を復興させるには景気を刺激することが必要となる。これまでの事業継続を目的とした経営継続支援金給付事業や景気刺激を目的としたプレミアム商品券事業とともに、新たに景気を刺激し、業態転換等を図るための投資を促進することが必要であるとする。そこで、工場等新增設奨励金交付要綱の一部を改正し、臨時的限定的に、第 2 条第 1 号工場等の定義などを変更するな			市 長 教育長

	どして、広範な投資を呼び込むとともに、業態転換等も同時に図れるようにすべきと考えるが、どうか。 (3) 世界的なコロナ禍の影響で、木材が一部の国に集中し輸入材が入ってきにくくなっており、また国産材の流通価格が上昇し、地産地消が難しくなっている、所謂、ウッドショックと言われるものが朝来市でも生じており、新增築に係る産業活動が阻害されている。そこで、市内の新增築をこれまでと同様に維持するためウッドショック対策として、市内木材供給事業者を介した補助制度を創設し、国産材流通価格の低減と国産材の市内流通量を確保すべきと考えるが、どうか。 (4) オンライン学習等を実施するために、要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部が令和3年3月19日に改正されオンライン学習通信費が新たに追加されたが、通信費上限額が1万2千円（年額）であり、WIFIルーター通信費が凡そ5千円（月額）と高額なために、要保護・準要保護世帯にとっては過大な負担となること、また、要保護・準要保護世帯以外については、保護者が通信機械購入費や通信費を負担しなければならず、義務教育として学習機会の提供を行う上では、大きな問題を孕んでいることから、支給要綱の金額または期間（年から月へ変更）の見直しを行うとともに、オンライン学習が必要となる、学級・学年・学校閉鎖や出席停止措置の対応を改めて見直し、通信環境の有無によって、学習機会や学習内容、学習方法が異なるような不適切な運用を見直すべきと考えるが、どうか。 (5) 感染予防が未だ未だ不十分な店舗や場所が散見されることから、店舗に出向き、感染予防の協力を要請するような体制を構築すべきと考えるが、どうか。	
2 公共施設再配置について	(1) 公共施設再配置については、公共施設再配置基本方針、公共施設等総合管理計画、公共施設再配置基本計画、公共施設再配置計画（個別施設計画）で、方針及び計画が示されているところであるが、その対象は、基本方針が公共施設であり、総合管理計画が公共施設、インフラ施設、企業資産施設であり、基本計画が公共施設、個別施設計画が公共施設となっており、ま	市長

た対象施設が異なることから、将来更新費用が異なっており、基本方針と総合管理計画との整合性が図られていない。そこで、基本方針を見直し、インフラ施設及び企業資産施設を包含させ、他にも方針や計画等について、総合性を図りつつ見直すべきことは見直すべきと考えるが、どうか。

- (2) 公共施設再配置について、国から示された総合管理計画に対する誤解や不足があるのではないかと考える。その結果、公共施設再配置の目的も深化させることができなかったのではないかと考える。市の方針や計画は、将来更新費用が莫大な予算を必要とするために、保有量の適正化等を図るというものではないかと考える。しかし、市は経費だけに着目しているが、国から示された主な分析項目には、「公共施設等の維持管理・修繕・更新等に係る中長期的な経費の見込みやこれらの経費に充当可能な財源の見込み等」とされている。そこで、財源の観点から見直してみると、施設整備には、国県支出金（補助金等）が充当でき、その割合は一般的に 1/2 以上であり、過疎債や辺地債等の有利な起債も充当でき、その割合は一般的に 70%以上である。また、今後に適正な使用料・利用料の見直しを行えば新たな財源が確保され、同時にランニング費用の縮減が図れる。こうした財源を検討分析すれば、公共施設及びインフラ施設の将来更新費用 1,645 億円の凡そ半分が手当可能となる。また、インフラ施設（道路橋長寿命化修繕計画対象橋梁）の長寿命化による 40 年間の削減効果が 89 億円と見込まれている。また、企業資産施設については企業会計において独立採算制が採用されていることから、企業資産施設の将来更新費用が一般会計に影響を与えるものではない。また、将来更新費用の建て替え・大規模改修はその必要が生じる際に検討すればよく、不可避でもなければ義務的でもない。こうしたことから、将来更新費用やランニング費用を理由とした、総合管理計画の従来説明では言わざるを得ない。つまり、総合管理計画は将来更新費用やランニング費用の削減が目的でも手段でもないということである。その目的は、保有資産量の最適化や使用料の適正化であり、その前提として、保有資産の分析（財源、使用率、使用料、経費、代替性、公共性、必要性など）が手段として求められているという

	ことが正しい理解ではないかと考える。そうした観点から、現在の公共施設再配置を俯瞰すると、その目的や手段が必ずしも正しく理解されていないばかりか、その誤った目的や手段が住民に周知されてしまっている。これでは住民に受け入れられないばかりではなく、理解もされないのは必然ではないかと考える。今後、基本方針や総合管理計画の見直しをする際には、その目的や手段について、改めて再考し、追加補足的に説明を加える同時に、住民周知の際の視点や重点項目なども再考すべきと考えるが、どうか。	
3 農業振興について	(1) 朝来市農業推進戦略プランについて、最も重視すべき指標と、その他の指標の殆どが中間年度の令和3年に達成できない可能性が非常に高いことが分かった。この結果から、戦略達成の作戦が誤っていたのか、目標達成の戦術が誤っていたのか、それともその他に原因があるのか。 (2) 農産物販売支援について、その手段である朝来市農産物流通拡大業務の成果は全く出ていないようであるが、朝来市が直接的な支援をしてない市内産直センター（まほろばや山城の郷、たじまんま等）の方が実績も評価も高く、市内農産物の販路として確立されつつある。そこで、農産物流通拡大支援補助金を創設し、法人や施設等と協力し、生産者への出荷奨励金に要する経費の半額（市 1/2、法人等 1/2）を補助するなどすれば、市内農産物の販路の拡大及び地産地消を促進することができるかと考えるが、どうか。 (3) 農業振興の目的は、農地保全や食料自給率の向上、産業振興などではないかと考えるが、農産物販売支援等の各種施策により、食料自給率の向上や産業振興は対応が可能な課題である。その一方で、農地保全は、農業が抱えている本質的問題を孕んでいるために、現時点で非常に暗い見通しや将来展望しかない。その本質的問題点とは儲からない水稻である。水稻面積は市内耕地面積の半分以上を超えており、その水稻が維持できなければ、農地保全はままならなくなる。そこで、2つの提案を行いたい。その一つは、ブランド米の創設である。ブランド米をこれから作り出すのでは時間が掛かりすぎることから、まずは朝来市米のブランド化	市長

	やＪＡ但馬米からの差別化を目指す。もう一つは、農業機械購入費補助である。現行の農業機械等導入支援補助金交付要綱第３条第４号に農業後継者を追加し、別表に補助率（１／１０）、補助限度額（５００ 千円、中古 ２５０ 千円）を追加し、各条文を見直すなどすべきと考えるが、どうか。 また、現在多くの小型特殊自動車や大型特殊自動車に課税ができていないことから、課税証明を要件として追加すべきと考えるが、どうか。	
--	---	--

第 22 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 3 年 6 月 24 日

番号	5	質問者	岡 田 和 之	タイトル	コロナ特例減免・「生理の貧困」
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	コロナ特例減免について	(1) 新型コロナウイルスの影響で収入が減少した場合、コロナ特例減免（国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料）が受けられます。市内対象者の受給状況はどのようになっているのか伺います。 (2) 今年度はコロナ特例減免の国からの財政支援が減少していますが、どのように対応するのかお尋ねします。			市 長
2	生理用品の無償配布について	(1) 新型コロナウイルスの影響で収入が減少し経済的事情で生理用品が購入できない家庭が増えています。3月にマスコミで、「学生の 5 人に 1 人が生理用品入手に苦労」と報じられました。その後、自治体や国に対策を迫る声が急速に広がっています。公共施設や、小中学校の女性トイレへの生理用品の無償配布を求めますが、お考えをお尋ねします。			市 長 教育長
3	急傾斜地崩壊防止事業について	(1) 朝来市庁舎裏山の急傾斜地崩壊防止事業の進捗状況についてお尋ねします。			市 長
4	少人数学級について	(1) 「小学校から中学校に入学したとたんに、以前の倍の 40 人の学級編成となり、生徒も保護者も戸惑っている。何とかならないのか」との声を聞いています。少人数学級の中学生までの実施にどう取り組むのかお尋ねします。			教育長

第 22 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 3 年 6 月 24 日

番号	6	質問者	上 田 幸 広	タイトル	朝来市の新出発にむけて
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求める者
1 市長の情報発信について			(1) 前市長は、「対話を基調とする心優しい市政の実現」をモットーに市政を運営されていたが、新市長は市民に対して、どの様なモットーで市政を運営するのか伺う。 (2) 市長自らが H P や S N S を活用し、頻繁に情報発信し、その人柄や施策に取り組む姿勢などを市民に P R する市長もいるが、新市長はどう考えるか伺う。 (3) 新市長誕生を機に朝来市 H P を刷新してはどうか。		市 長
2 景観の維持について			(1) 市内には、老朽化した旧町時代からのサインや看板などが点在している。現状を把握しているのか。また撤去などの対応は。 (2) 「道の駅あさご」の旧観光案内所や付随する緑地公園の遊具など老朽化や劣化が激しいが、今後の活用の見通しを伺う。 (3) 「道の駅あさご」に付随する河川公園の整備の見通しを伺う。 (4) 「道の駅あさご」に掛かる牧野橋、また国道 429 号線に掛かる「あさご虹大橋」の錆びによる劣化が激しいが補修の見通しについて伺う。 (5) LINE を利用し市民から道路、公園の損傷、不法投棄などの通報を受けるようにしてはどうか。		市 長

3 コロナ禍での熱中症対策について	(1) マスク着用による「マスク熱中症」についての対策を伺う。特に高齢者の方、農作業従事者の方のリスクは高いと考えるが特化した対策についても伺う。 (2) 熱中症予防のための新たな情報発信「熱中症警戒アラート」について仕組みを伺う。 (3) 新型コロナワクチン接種会場の熱中症対策について伺う。 (4) 熱中症の原因である地球温暖化を止める試みとして二酸化炭素削減の取組みがある。朝来市として気候変動に対して「気候変動非常事態宣言」を出し、市民と共にゼロカーボンシティを目指すべきと考えるが所見を伺う。 (5) 学校での熱中症対策の取り組みについて伺う。 (6) 子ども達は、重い水筒を持参しているが、学校にウォーターサーバーを設置してはどうか。 (7) 体育館へのエアコン設置の進捗状況を伺う。	市長 教育長
4 認知症対策について	(1) 認知症による徘徊行動への対策について伺う。 (2) 万が一、認知症の方が事故を起こした場合の為に、市が契約者となる認知症損害保険制度を創設してはどうかご所見を伺う。	市長

第 22 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 3 年 6 月 24 日

番号	7	質問者	鈴木 逸 朗	タイトル	コロナの封じ込めを基本戦略に
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	新型コロナウイルス対策について	(1) コロナの封じ込めを基本戦略に コロナの封じ込めという戦略目標を明確にし、①ワクチンの安全、迅速な接種。②検査の実施で感染を封じ込める。③十分な補償と生活支援。の 3 つの柱で政治が取り組むべきと考えるが、市長としてどう思うか。 (2) 社会的検査などへの取り組みを 市として社会的検査の取り組みを進めるべきではないか。 (3) 学生への支援策について 昨年度の家賃支援に引き続いて、何らかの生活支援ができないか。			市 長 教育長
2	中山間地域等直接支払制度について	(1) 交付金について 交付金の対象外となる農業者があると聞くが、その理由と市内の状況は。 同じ地域で、同じような作業をしても交付金が支払われないことは、問題を感じないか。また、矛盾を生みはしないか。			市 長
3	要援護者ごみ戸別収集の制度について	(1) ごみ処理計画について ごみ処理計画では、要援護者ごみ戸別収集の制度を検討することになっているが、その検討状況は。 (2) 要援護者ごみ戸別収集制度について 補助支援制度も含めて、要援護者ごみ戸別収集の制度化を。			市 長
4	高齢者などインフルエンザ予防接種について	(1) 高齢者などインフルエンザ予防接種は、再び無料化に取り組むべきではないか。			市 長

第 22 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 3 年 6 月 24 日

番号	8	質問者	藤 本 邦 彦	タイトル	農業と子どもたちは朝来市の宝
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	東河コウノトリ事故死について	(1) 4月に発生した東河地区久田和に営巣するコウノトリの事故死について質問する。 事故発生後の市の対応はどうであったか。どのような経緯があり、どのように対応されたのか。 (2) 事故発生当時、地元地域からはどのような要望が寄せられたのか。地元地域からの声に対し、丁寧に対応されたのか。 (3) 現在、県立コウノトリの郷公園において、久田和で保護された3羽のコウノトリが飼育されているが、そのことについて市長はどのようにお考えか。また、3羽の放鳥場所についてはどのように検討されているか。 (4) 今回の事故は自動車によるものとされているが、自動車によるコウノトリの事故は過去に1例しかないそうである。当市内の道路で、なぜこのような事故が起こったと考えておられるか。 (5) コウノトリを育む郷づくりを目指して来た地域において、今回の事故は大変残念なこと。このような事故が二度と起きないようにするために、市としてどのような対応を考えておられるか。			市 長
2	学校給食に地元産野菜を増やせないか	(1) 市内の学校給食において地元産食材の利用は進んでいるか。 (2) 野菜については地元産の利用率をもっと上げて頂きたいと思うが、どのようにお考えか。そのためには農林振興課との連携が必要と思うがどうか。 (3) 学校給食で地元産野菜の利用をもっと増やすためには様々な課題があるように思う。生産者にもそれなりの準備が必要と思われる。そこで、農林振興課が果たす役割も大きいと考える。			市 長 教育長

	学校給食に地元産野菜をさらに多く供給するために、農林振興課では何か具体策を検討されているか。また、今後課題となることはどのような事と考えておられるか。	
3 朝来市の美味しいお米をブランドへ	(1) 朝来市内で独自のブランド米を育ててはどうか。「コウノトリ米」や「アイガモ米」など素晴らしいブランド米はあるが、いずれも一般の生産者にとっては少しハードルが高い、例えば冬期湛水は困難な水田も多い。 減農薬と有機肥料を使うなど、人と自然・環境に配慮した農法は守りつつ、市内の一般生産者でも容易に参加出来るような、朝来市独自のブランド米を研究してはどうか。もちろん、販売価格は生産者の生産意欲をしっかりと高めるものにすべきであり、そのために品質を高め、高品質・高価格米の販売先を確保することは前提条件である。	市 長
4 幼児や児童、生徒の熱中症対策を	(1) ようやくワクチン接種が軌道に乗りつつあるが、新たな変異株の脅威など、コロナ禍はまだまだ終わりの見えない状況。子どもたちの感染防止対策はもちろん大切だが、そのことで子どもたちが日々被っている様々な犠牲について、私達はしっかり考えなければならない。 夏の猛暑の中でのマスク着用については、死亡事故にもつながる熱中症の危険があることから、特に注意が必要である。当然学校内においては教職員が十分に注意していると思うが、下校時など、教職員の目が届かない所では臨機応変にマスクをはずす判断を子どもたち自身で行わなければならない。 しかしながら、地域で子どもたちを見守る市民の皆さんから、炎天下の中、マスク姿で顔を真っ赤にして下校する子どもたちの姿を見て心配している、といった声を聞く。保護者の皆さんも大変心配されている。 子どもたちに対して、暑さ対策、熱中症対策について、しっかり指導されているか。 (2) 「マスク」には感染対策の上でのメリットや必要性があることは誰もが認めるところだが、一方で、長期にわたり、長時間着け続けることのデメリットやリスクもたくさんある。	教育長

	特に成長過程の子どもたちにとっては、健康面、学習面、精神面など、多岐にわたるリスクが考えられ、問題とされているが、このマスク着用のリスクについて承知されているか。どのようなリスクがあるとお考えか。 (3) 学校生活における長期間、長時間のマスク着用が子どもたちに与えるリスクについて、今後、どのような対応及び対策を考えておられるか。	
--	--	--

第 22 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 3 年 6 月 25 日

番号	9	質問者	森 田 龍 司	タイトル	朝来の活力あるまちづくりを拓く
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求める者
1 市長の所信表明について			(1) 市長の所信表明は、とても明快でわかりやすくまとめられていると評価している。「全ての住民の皆さんが幸せを実感できるまちづくり」の実現を基本方針にあげて、この幸せを実感するために5つの重点施策を進めていくというシナリオです。そして、自らが先頭に立ち朝来市の未来に対し果敢に挑戦すると決意している。さらに、基本方針の実現と未来へのチャレンジをコミットメントされたと理解できるが、その理解でいいか。		市 長
			(2) まず、「全ての住民の皆さんが幸せを実感できるまちづくり」とは、どのような姿を描かれているのか。また、その姿の実現時期をいつに設定するのか。		
			(3) 次に基本方針を実現するための5つの重点施策があるが、この重点施策を達成するための事業計画を立てていかなければならない。これらの計画が提案されるのはいつ頃か。		
			(4) 今回の所信表明は、所信の一部とされているが、今後には、どのような形で追加施策等が出されるのか。そして最終的には基本方針や重点施策、重点施策を達成するための事業計画が完成するのはいつ頃になるのか。		
			(5) 当然に、事業計画には目標（達成指標）が設定されなければならない。特に、3つ目の「あなたと儲ける農業」と4つ目の「あなたと創る元気な地域経済」は、儲ける・稼ぐという観点からも明確な数値目標が必要だと思うが、どのように考えておられるか。		
			(6) 市長は、朝来市の未来に果敢にチャレンジするとコミットされた。3つ目と4つ目の重点施策を達成するためには、新たに「株式会社 朝来市」という一面を創造するような挑戦をしていかなければならないと思う。儲ける・稼ぐことを経験しない職域からの脱皮		

	を図る大英断も必要だと思うが、農業者が儲け、市内事業者が稼ぐために、市長は、どのような構想と戦略をもって、これを成し遂げようとされるのか。 (7) 市内の若者が新たに農業を始めようとするときの育成・支援制度が全くない。例えば、ＪＡや民間企業とのタイアップによる育成機関の設立など、農業従事者を増やす取組を検討できないか。 (8) 商工会によるアンケートが四半期ごとに実施される。当局も事業者へのアンケートを定期的に実施し、金融機関の景況指数とも共有して、市内の経済状況が四半期ごとに把握できる仕組みづくりを検討できないか。 (9) 市内の産業構造の強化を図るためにも、産業構造の分析と分析による課題抽出と強化策の構築シナリオづくりの検討ができないか。	
2 市長の所信表明と第3次朝来市総合計画の関係性について	(1) 市長が出された所信表明と策定中の第3次朝来市総合計画との関係性について、どのように考えているのか尋ねる。 (2) 市長は、今後の市政運営において最も重要視するのは、市の最上位にある総合計画であるのか、それとも市長の所信表明が優先されるのか尋ねる。 (3) 現在、策定中の第3次朝来市総合計画に、今後は、市長の所信表明が組み込まれていくと思うが、市長は、どこを、どのように、織り込んでいくことが重要だと考えているのか尋ねる。 (4) 市長の所信表明で表明している将来像と第3次総合計画の目指す将来像に違いはあるか。違いがあるなら、その違いを説明いただきたい。違いが無ければ、どのように理解をすればよいかを尋ねる。 (5) 今回策定中の第3次朝来市総合計画は、基本構想、基本計画、実施施策のつながりが薄いように思う。さらに事業内容や事業の指標、マネジメントシートの成果指標の精査について、政策担当室と各部署との徹底	市 長

	した議論が必要であると思うが、どのように考えているか尋ねる。 (6) 政策指標に「幸福度」に加え、ありたいまちの姿をもって検証することは評価できる。ただ、基本構想を達成するための基本計画ではなく、基本計画と基本構想が別々に作成されて、その後に基本構想に組み込まれていることから、事業の成果指標の評価が満足度に当てはまらない問題が考えられる。それについてどのように考えられるか尋ねる。 (7) 例えば職員に、何のために仕事をするのかを尋ねると、それは「市民の幸せのために」と応えてくれる。それには、わかりやすい将来像と明快な基本構想と基本計画と実施施策の関係性が必要。今回の総合計画には、このわかりやすさと明快な関係性が重要視されなければならないと思うが、市長は、どのように考えているか尋ねます。	
3 ワクチン接種の状況について	(1) 国内のワクチン接種は、一日の接種回数が6月に入ってから60万回程度に増えており。6月14日付で、1回目接種した高齢者は33%、全人口の12%に達している。朝来市も65歳以上のワクチン接種は、順調に進んでいると思うが、その進捗状況について尋ねる。 (2) 65歳以上のワクチン接種終了時期と人数と接種率について尋ねる。 (3) 当初は「予約電話がつながらない」「何百回も電話して何とかつながった」「高齢者はネットに不慣れ」と言った批判が多かった。しかし実際に接種が始まってからは、これだけの未経験の大プロジェクトを、大きなミスもなく円滑に実施されている。これには医療関係者や市当局の大変な努力と接種の業務に関わっている多くの職員の知恵と努力の賜と感謝申し上げ、心より敬意を表するものである。 それでは、ワクチン接種が順調に円滑に実施できた効果について尋ねる。	市長

	(4) 65 歳以上の方に次いで実施される接種の予定について尋ねる。 (5) 優先接種以外の一般の方への接種についても計画が立てられていると思う。今後の計画について尋ねる。 (6) ワクチンの必要量は、計画に基づいて確保されていると思うが、ワクチンの確保について簡単でいいので、その手順について尋ねる。 (7) ワクチンの保管管理と各医院や接種会場へのワクチン配送については、細心の注意が必要であると思うが管理面での注意点について尋ねる。	
--	---	--

第 22 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 3 年 6 月 25 日

番号	10	質問者	藤 原 正 伸	タイトル	市長の使命（所信表明から）
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求める者
1	市長の使命について	(1)	市長は、所信表明の冒頭において、使命と責任感を持って市政運営を担うことを表明されております。 市政運営における市長の使命と責任とは何でしょうか。市長のお考えを伺います。		市 長
2	子育て支援について	(1)	幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進する「子ども・子育て支援新制度」が平成 27 年 4 月に始まり、制度の実施主体としての市の役割と権限・責任が明確になりました。 この間、本市でも「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子どもの成長と子育て支援の量的、質的充実に向けた施策を実施しています。 現状の子育て支援の取り組みの評価や課題について、お考えを伺います。		市 長 教育長
3	ICT 教育環境整備について	(1)	令和元年 12 月に文部科学省が打ち出した GIGA スクール構想は、当初 5 カ年計画で進める予定だったところ、新型コロナウイルスの影響で、その実現が令和 2 年度内へと前倒しされました。 本市においても、昨年度末までに児童生徒 1 人 1 台の学習用端末の導入が完了していると承知していますが、その活用について現在までの準備ないし実施の状況と、把握されている課題について伺います。		教育長
4	公共交通の利便性向上について	(1)	本市の公共交通については、昨年度、地域公共交通が担うべき役割を整理した上で、地域住民・交通事業者・行政がともに考え行動するためのマスタープランとして「朝来市地域公共交通網形成計画」を策定し、地域公共交通の維持・活性化に向けた施策に取り組みはじめたところです。 少子化による人口減少や自家用車への依存が進み、公共交通機関の利用者数が大幅に減少するとともに、乗務員等の人材不足や収益の悪化など事業者側の事情もあり、現状の交通網を維持することさえ厳しい状況にあるなか、利便性の改善、見直しに向かう市長の視点について伺います。		市 長

5 地域経済の活性化について	(1) 企業誘致は、経済活性化策のひとつですが、現状の課題や地域性を良く把握したうえで、市が主体性を持ち戦略的に誘致していかなければ、地域経済にとって有効な企業誘致とはなり得ないと考えます。 地域経済の活性化策として企業誘致に取り組む姿勢についてお考えを伺います。	市 長
6 職員の意識改革について	(1) 職員の意識改革について言及されています。 市政の舵取りを担う市長の交代は、自ずと組織と職員の意識に変革を求めるものですが、現状の何が問題でどう変えていく必要があるのでしょうか。お考えを伺います。	市 長